Soundscape Producer Mastering Studio

For All Soundspace Designers and Listeners

USER'S MANUAL

Ver 20070810



目次

1 はじめに 2
1.1 ソフトウェア使用許諾契約書 . . . 2
1.2 CD-ROM の内容 3
1.3 Window の動作環境条件 3

2 準備 4
2.1 SSPMS のインストール 4
2.2 .NET Framework のインストール 4
2.3 ドライバのインストール 4

3 クイックスタート 5
3.1 SS-MZS16/08 の場合 5
3.2 SS-MZP08 の場合 5
3.3 SS-SCP01 の場合 5

4 SSPMS のユーザーインターフェース 6
4.1 画面構成 6
4.2 メニュー 7
4.2.1 ファイル 7
4.2.2 プロジェクト 7
4.2.3 コンテンツ 7
4.2.4 スケジュール 8
4.2.5 ツール 8
4.2.6 ヘルプ 8

5 プロジェクトファイルの操作 9
5.1 初期設定ファイルの準備 9
5.2 プロジェクトの新規作成 9
5.3 プロジェクトが作成されたら . . . 9
5.4 忘れずに保存 10

6 音源ファイルの管理 10
6.1 音源の追加 10
6.2 更新 11
6.3 削除 11
6.4 順序変更 11
6.5 再生 11

7 スケジュール設計 12
7.1 スケジュールの追加 12
7.1.1 時間帯の設定 12
7.1.2 再生モードの設定 12
7.1.3 スケジュールメモ 13
7.2 スケジュールの変更 13
7.3 スケジュールの削除 13

8 スケジュール詳細設計 14
8.1 配信曲の設定 14
8.1.1 配信曲の追加 14
8.1.2 音量の設定 14
8.1.3 音源順序の変更 14
8.1.4 配信曲の削除 14
8.2 出力先設定 15
8.2.1 出力先の追加 15
8.2.2 出力先の削除 15
8.3 センサー設定 15
8.3.1 センサーの追加 15
8.3.2 センサーの削除 15

9 コンパイル 16
9.1 コンパイルの準備 16
9.2 コンパイルの実行 16
9.3 Error と Warning について 16

10 CF カードへの書込 17
10.1 専用カードライターの準備 17
10.2 コンテンツ転送 17
10.2.1 準備 17
10.2.2 転送 17
10.2.3 転送中止 18
10.2.4 ベリファイ 18
10.2.5 フォーマット 18
10.3 スケジュール転送 18
10.3.1 準備 18
10.3.2 転送 18
10.3.3 転送中止 18
10.3.4 ベリファイ 18
10.3.5 フォーマット 18

11 その他の操作 19

11.1 CD から Wav ファイルのリッピング 19
11.2 mp3 ファイルへのエンコード . . . 19
11.3 機器構成情報の入力 19

12 **製品に関するお問合せ** 20

1　はじめに

このたびは、Soundscape Producer Mastering Studio（以後、SSPMS）をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。

SSPMS は、

- SS-MZS16(Multi-Zone Server)
- SS-MZS08(Multi-Zone Server)
- SS-MZP08(Multi-Zone Player)
- SS-SCP1(Schedule Card Player)

音源およびスケジュールや音源配信先等の各種設定と、コンパクトフラッシュカードへのデータ転送を行うソフトウェアです。

SSPMS 使用する前に、お使いのコンピュータの基本的な操作方法を習得しておく必要があります。Windows コンピュータの基本的な使い方は、コンピュータに添付されているマニュアルや関連書籍を参照してください。また、CD-ROM ドライブやプリンタなどの周辺機器に関する不明な点は、それぞれの製品に添付されているマニュアルを参照してください。

1.1　ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアをセットアップ（インストール）する前に必ずお読みください。本ソフトウェアをセットアップ（インストール）すると、本契約の内容を承諾したことになります。本契約の内容に同意できない場合は、本ソフトウェアのセットアップ（インストール）を行わないでください。

本使用許諾契約書（以下、「本契約書」）は、株式会社アモネット（以下、「弊社」）が提供するソフトウェアに関する使用条件を定めるものです。

■第１条（定義）

1. 「本ソフトウェア」とは、本契約書とともに提供されるソフトウェア（製品名「SSPMS」ライセンス数 1）を指します。また、音源素材、テンプレートファイル、ヘルプファイルなどの使用方法を説明したデータなどがソフトウェアに付属し提供される場合は、これらのデジタル情報の一部または全部も含めます。なお、本ソフトウェアに含まれる第三者の著作権に関しても、本契約書が適用されます。
2. 「関連資料」とは、本契約書とともにマニュアルなどの印刷された資料が提供される場合、これを指します。
3. 「お客様」とは、本契約書とともに提供された本ソフトウェアを含む製品を購入し本契約書に同意いただいた個人または法人を指します。

■第２条（使用条件）

1. お客様は、本ソフトウェアを１台のコンピュータにセットアップ（インストール）してご利用いただけます。
2. お客様のうち特定のただ一人が使用するコンピュータが複数ある場合には、本ソフトウェアを同時に使用しないという条件の下、特定の個人ただ一人が使用するコンピュータに限り複数セットアップすることができます。
3. 本契約書は、本ソフトウェアの不具合修正などの目的で改訂したソフトウェアに対しても適用されるものとします。ただし、改訂されたソフトウェアと改訂前のソフトウェアは同一のコンピュータにセットアップされている場合に限ります。

■第３条（制限）　お客様は、下記の項目を行うことはできません。

1. 本契約書に定めのない、複数コンピュータへのセットアップ（インストール）または複製（コピー）
2. 関連資料の複製（コピー）
3. 本ソフトウェアに含まれるプログラムの改変またはカスタマイズ、リバースエンジニアリング
4. 本ソフトウェアの第三者への再配布、再使用許諾
5. 本ソフトウェア（複製物を含む）の貸与（レン

タル)、疑似レンタル、中古品としての販売、譲渡

6. 本ソフトウェアをネットワークコンピュータやサーバーから第三者が複製またはダウンロードできる状態にしておくこと
7. 本ソフトウェアを地上波、衛星、ケーブルまたはその他の媒体を利用した放送、インターネット放送、イントラネットなどネットワークを利用した放送などに利用すること

上記各号の規定は、本ソフトウェアを改訂した製品をご購入した場合にも継続して適用されます。

■第４条（保証範囲）

1. 弊社は、本ソフトウェアまたは関連製品に物理的な瑕疵がある場合、お客様がご購入後 30 日間に限り、弊社の判断に基づき交換いたします。ただし、地震、火災などによる破損またはお客様のご購入後の故意、過失、誤った使用によって生じた破損についてはこの限りではありません。
2. 弊社は、本ソフトウェアの機能がお客様の使用目的と適合することを保証するものではありません。弊社は、本製品の物理的瑕疵について保証するものであり、本ソフトウェアまたは関連資料の使用または使用不能から生ずる直接的または間接的被害については一切責任を負いません。
3. 弊社は、本ソフトウェアを使ってお客様が行ったいかなる行為についても、その責任を負いません。

■第５条（期間）

1. 本契約は、本契約が成立した時点、すなわち本ソフトウェアをセットアップ（インストール）した時点に始まり、お客様が本ソフトウェアの使用を停止するまで有効とします。お客様は、本ソフトウェアの使用を停止した時点で、本ソフトウェアおよび関連資料の一切を破棄するものとします。
2. お客様が本契約に違反した場合は、本契約を解除してお客様の本ソフトウェアの使用を停止させることができます。弊社が、本ソフトウェアの停止を通知した場合には、お客様は速やかに本ソフトウェアおよび関連製品の一切をお客様の費用負担で弊社に返却するものとします。

■第６条（一般条項）　本契約書に関して生じた紛争については、福岡地方裁判所を第一審の専属的管轄裁判所とします。

1.2　CD-ROM の内容

- SSPMS 本体
- .NET Framework 2.0 再頒布ファイル
- USB デバイスドライバ
- SSPMS

1.3　Window の動作環境条件

- OS：Windows XP Home/Professional
- PentiumII 233MHz 以上
- メモリ：32MB 以上
- HDD 空き容量： 2MB(SSPMS 本体のみの場合)
- モニタ：800x600 ピクセル以上
- その他：USB ポート x 1
- その他：Windows 互換サウンドデバイス

2　準備

2.1　SSPMS のインストール

特別な作業は必要ありません。SSPMS インストールディスク内にある SSPMS フォルダを、適当な場所へコピーしてください。sspms.exe がソフトウェア本体のファイルです。

SSPMS フォルダ内にある幾つかの DLL ファイルは、必ず sspms.exe と同一フォルダ内に置いておく必要がありますので、移動や削除を行わないようにしてください。

2.2　.NET Framework のインストール

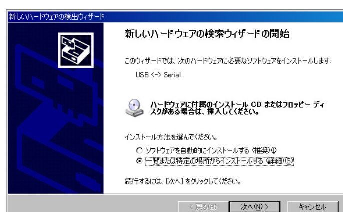
本ソフトは.NET Framework 1.1 以上で動作します。既に.NET Framework がインストールされている場合には、次節へお進みください。

.NET Framework がインストールされていない場合には、CD-ROM 内に同梱されている dotnetfx.exe を実行し、インストールを行ってください。

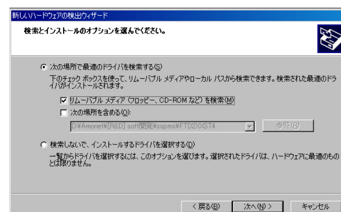
2.3　ドライバのインストール

ご使用中の PC の USB ポートへ、Amonet コンパクトフラッシュカードライターを初めて接続した場合、デバイスドライバのインストールが要求されます。(稀に、USB ポート毎にインストールを要求されます)

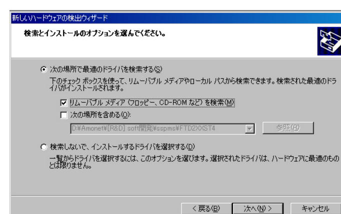
① SSPMS インストールディスクから必要なデバイスドライバのインストールを行いますので、"一覧または特定の場所からインストールする"にチェックをつけ、次に進んでください。



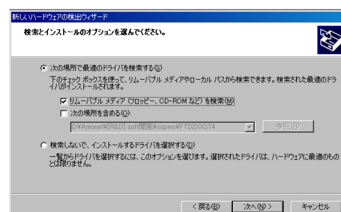
② 検索する対象として、"リムーバブルメディア"を選択してください。検索で見つからない場合には、"次の場所を含める"を選択し、SSPMS インストールディスク内の"デバイスドライバ"フォルダを参照させてください。



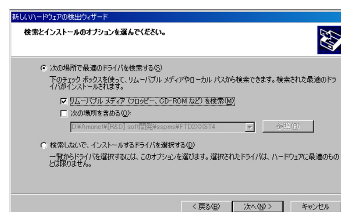
③ 必要なファイルが見つかると、インストールが開始されます。途中、下図のウィンドウが表れ、インストールが中断してしまいますが、「続行」を押下してインストールを続けてください。



④ 「続行」が押下されると、インストールが続けられます。



⑤ 本ウィンドウが表示されると、デバイスドライバのインストールは完了です。



3　クイックスタート

3.1　SS-MZS16/08 の場合

1　プロジェクトの作成（開く）

↓

2　音源を各 Channel へ登録

↓

3　各 Channel に対してスケジュールを作成

↓

4　スケジュールの詳細を設定。

・配信曲

・出力先

・センサー

↓

5　コンパイル

↓

6　CF カードへデータを転送

・スケジュールカード

・コンテンツカード (設定した Channel 分)

3.2　SS-MZP08 の場合

1　プロジェクトの作成（開く）

↓

2　音源を各 Channel へ登録

↓

3　各 Channel に対してスケジュールを作成

↓

4　スケジュールの詳細を設定。

・配信曲

↓

5　コンパイル

↓

6　CF カードへデータを転送

・スケジュールカード

・コンテンツカード (設定した Channel 分)

3.3　SS-SCP01 の場合

1　プロジェクトの作成（開く）

↓

2　音源を Channel01 へ登録

↓

3　Channel01 のスケジュールを作成

↓

4　スケジュールの詳細を設定。

・配信曲

↓

5　コンパイル

↓

6　CF カードへデータを転送

・コンテンツカード

4　SSPMS のユーザーインターフェース

4.1　画面構成

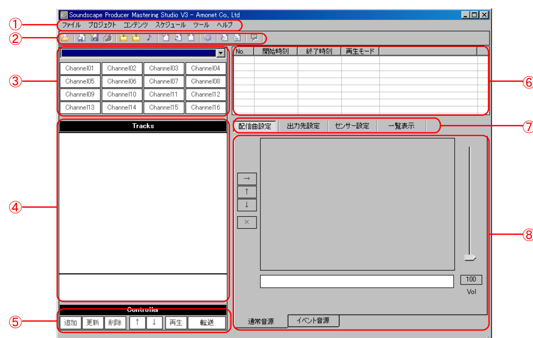


図 1　メインウィンドウ

① メニューバー

SSPMS を操作するためのメニューが表示されます。メニューバーの各メニューを選択すると、それぞれのメニューがプルダウン表示されます。

② コントロールバー

各種操作を直接行うためのボタン群です。各ボタンの上へカーソルを合わせると、それぞれのボタンで行われる操作内容がポップアップ表示されます。

③ 機器切替/Channel 切替

コンボボックス内には、設定対象機器が表示されます。設定対象機器が複数ある場合には、切替が可能です。機器表示ボックスの下には、Channel ボタンが表示されます。(設定対象機器により、ボタン数は異なります) 各 Channel は設定対象機器に挿入されるコンパクトフラッシュカードと、1 対 1 で対応します。

④ 音源表示

音源登録の操作が行われた後、音源のファイル名が表示されます。登録された音源が選択されると、下部に再生時間等の情報が表示されます。

⑤ 音源コントローラー

選択されている Channel に対し、各種音源の操作を行うためのボタン群です。

⑥ スケジュール表示

設定されたスケジュール情報(開始時刻、終了時刻、再生モード、メモ)が、リスト形式で一覧表示されます。

⑦ スケジュール詳細画面切替ボタン

スケジュール詳細画面の切替を行うためのボタン群です。

⑧ スケジュール詳細設定

スケジュールの詳細設定を行います。

1. 配信曲設定
2. 出力先設定
3. センサー設定
4. 一覧表示

4.2 メニュー

4.2.1 ファイル



図 2 メニュー - ファイル

■プロジェクトの新規作成

プロジェクトファイルを新規作成を行います。

■プロジェクトを開く

既存のプロジェクトファイルを開きます。

■プロジェクトを閉じる

現在開かれているプロジェクトファイルを閉じます。

■プロジェクトを保存

現在開かれているプロジェクトファイルを上書き保存します。

■名前を付けてプロジェクトを保存

現在開かれているプロジェクトファイルを別の名前で保存します。

■印刷

（現在、実装されていません）

■終了

SSPMS を終了します。

4.2.2 プロジェクト



図 3 メニュー - プロジェクト

■コンパイル

プロジェクトファイルをコンパイルし、CF カード作成に必要な設定ファイルを作成します。



図 4 メニュー - プロジェクト - CF カードへ転送

■CF カードへ転送 → スケジュール

コンパイル成功時に作成されたスケジュール情報の管理ファイルを、専用のカードライターを使用して CF カードへ転送します。

■CF カードへ転送 → コンテンツ

コンパイル成功時に作成された音源管理ファイルと音源ファイル (.mp3) を、専用のカードライターを使用して CF カードへ転送します。

4.2.3 コンテンツ



図 5 メニュー - コンテンツ

■追加

選択された Channel へ音源を追加します。複数ファイルを同時追加を行うことが可能です。

■更新

選択された音源ファイルを更新 (差替え) します。音源ファイル更新時、スケジュールへの登録情報も同時に更新されます。

■削除

選択された音源ファイルを選択中の Channel から

削除します。音源ファイル削除時、スケジュールへの登録情報も同時に削除されます。

■再生

選択されている音源ファイルの再生を行います。

4.2.4　スケジュール



図 6　メニュー - スケジュール

■追加

選択されている Channel に、スケジュールを新規作成します。

■変更

選択されている Channel に作成されているスケジュールを変更します。

■削除

選択されている Channel に作成されているスケジュールを削除します。

4.2.5　ツール



図 7　メニュー - ツール

■CD → WAV

PC の CD-ROM ドライブに挿入された音源 CD から WAV ファイルをリッピングするため、別ウィンドウを開きます。

■WAV → MP3

WAV ファイルを MP3 ファイルへ変換するために、別ウィンドウを開きます。

■機器構成情報の設定

機器が設置されている空間等の情報を設定するため、別ウィンドウを開きます。

4.2.6　ヘルプ



図 8　メニュー - ヘルプ

■ヘルプを表示

（現在、実装されていません）

■About

バージョン情報を表示します。

5　プロジェクトファイルの操作

SSPMS は、設置される機材の構成や音源、スケジュールやセンサー等の設定を、プロジェクトファイル単位で管理していきます。ここではプロジェクトファイルの作成について、説明を行います。

5.1　初期設定ファイルの準備

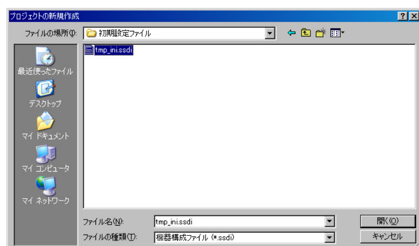
プロジェクトを新規作成するためには、初期設定ファイル (.ssdi ファイル) が必要です。SS-SCP1 以外の Soundscape シリーズ機器では、初期設定ファイルが機材構成によって異なります。初期設定ファイルの作成は、お近くの販売代理店へご依頼下さい。

5.2　プロジェクトの新規作成

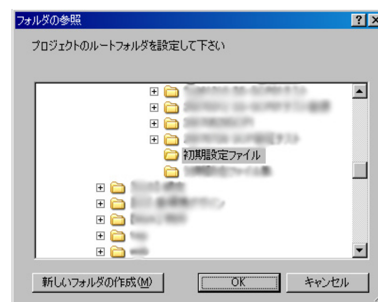
メニューから”プロジェクトの新規作成”を選択します。



ファイル選択ウィンドウが開いたら、初期設定ファイルが保存されているフォルダを開きます。



初期設定ファイル選択後、プロジェクト全体の基点となるフォルダを選択するために、フォルダ選択ウィンドウが開きます。



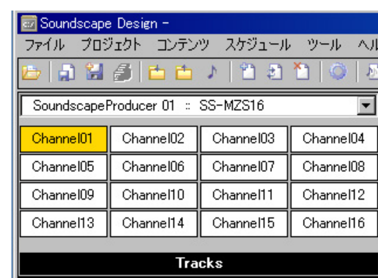
フォルダが正しく選択され、”OK”が押下されると、選択されたフォルダ直下に SSPMS に必要なフォルダおよびファイルが作成されます。

5.3　プロジェクトが作成されたら

プロジェクトファイルの作成に成功すると、設定対象機器の構成によって、表示される Channel ボタンの数がそれぞれの機器に合わせて設定されます。

SS-SCP1 以外の機器では、各 Channel に対して音源、スケジュール等の設定を行っていく必要があります。

■SS-MZS16 の場合



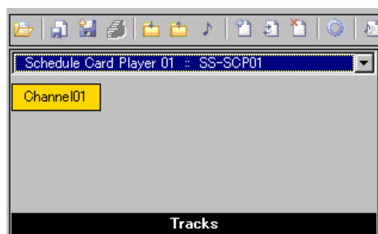
■SS-MZS08 の場合



■SS-MZP08 の場合



■SS-SCP01 の場合



5.4 忘れずに保存

プロジェクトの新規作成直後、プロジェクトフォルダの指定は完了していますが、プロジェクトファイルは作成されていません。コンパイル時、プロジェクトファイルが保存されていないとエラーになりますので、プロジェクト作成直後に保存されることをお薦めします。

プロジェクトの保存が完了すると、メインウィンドウ上部にプロジェクトファイル名が表示されます。また、SS-SCP1 を除く機器では、機器前面の LCD にプロジェクトファイル名 (先頭から 16 文字) が表示されます。(※日本語の表示には対応していません。)

6 音源ファイルの管理

音源はコンパクトフラッシュカード (以後、CF カード) 毎に管理されます。Soundscape シリーズで取り扱える音源のファイル形式は MP3 形式 (〜128Kbps) のみです。 1 枚の CF カードに対し、最大 50 音源まで登録することができます。

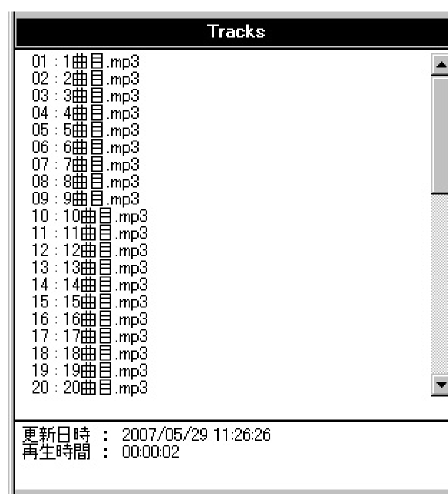


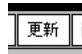
図 9 音源リスト画面

6.1 音源の追加



選択された Channel に、音源の追加を行います。上図の追加ボタンを押下、もしくは、ファイル→コンテンツ→追加を選択すると、音源ファイル選択ダイアログが開きます。追加したい音源ファイルが保存されているフォルダーへ移動し、音源ファイルを選択して下さい。Shift ボタンや Ctrl ボタンを押しながら音源ファイルを選択することで、複数のファイルを同時に一括登録することが可能です。

6.2　更新



既に登録されている音源ファイルの更新（差替え）を行うことができます。更新ボタンを押下、もしくは、ファイル→コンテンツ→更新を選択すると、音源ファイル選択ダイアログが開きます。音源ファイルの更新機能は、以下のような場合に便利です。

- スケジュールに登録された音源に修正を加えたので、差替えをしたい
- 音源ファイルの保存場所を変更したため、登録時と異なってしまっている。

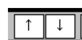
6.3　削除



選択された Channel に登録された音源を削除します。削除ボタンを押下、もしくは、ファイル→コンテンツ→削除を選択すると、選択されている音源が削除されます。Shift ボタンや Ctrl ボタンを押しながら音源ファイルを選択することで、複数のファイルを同時に一括削除することが可能です。

選択された音源がスケジュールに登録されている場合、スケジュールに登録されている情報も同時に削除されます。

6.4　順序変更

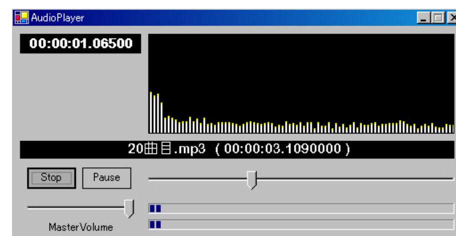


Soundscape シリーズのハードウェアでは、各 Channel の何番目にどの音源が登録されているかが重要です。上下の矢印ボタンは、選択されている Channel/音源の順序を前または後ろへ移動させます。

6.5　再生



登録された音源がどんなものであったか、簡易的に確認したいことがあります。このために、SSPMS には MP3 の簡易再生プレーヤーが備わっています。再生したい音源を選択した後、再生ボタンを押下、もしくは、ファイル→コンテンツ→再生を選択すると、簡易再生プレーヤーが起動します。



7　スケジュール設計

Soundscape シリーズのハードウェアは、あらかじめ設定されたスケジュールにしたがって、自動で音の運用を行っていきます。

0:00 から 24:00 の間に作成できるスケジュールの数は、24 スケジュールです。スケジュールの最小単位は 1 分で、1 分から 1440 分 (終日) までの長さのスケジュールを作成することができます。

No.	開始時刻	終了時刻	再生モード	
01	0:00	1:00	01	1番目のスケジュールです。
02	1:00	2:00	01	2番目のスケジュールです。
03	2:00	3:00	01	3番目のスケジュールです。
04	3:00	4:00	01	4番目のスケジュールです。
05	4:00	5:00	01	5番目のスケジュールです。
06	5:00	6:00	01	6番目のスケジュールです。
07	6:00	7:00	01	7番目のスケジュールです。
08	7:00	8:00	01	8番目のスケジュールです。

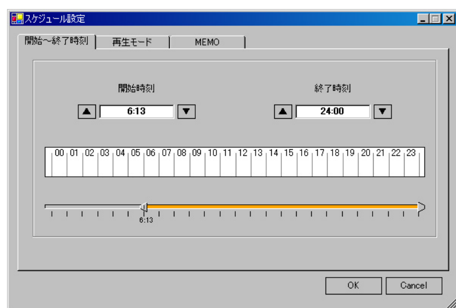
図 10　スケジュールリスト画面

7.1　スケジュールの追加

スケジュールリスト画面を右クリック→追加、もしくは、メニュー→スケジュール→追加を押下すると、スケジュール設定ウィンドウが開きます。

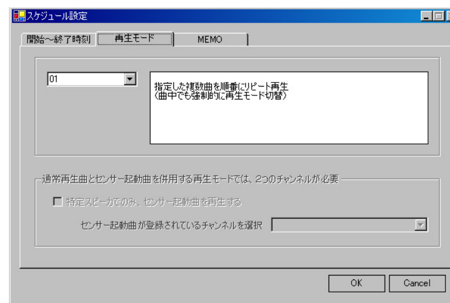
スケジュール追加が行われた場合、スケジュール間の順序調整は自動的に行われます。

7.1.1　時間帯の設定



スケジュールの開始時刻と終了時刻を設定します。水平方向のスライダで大まかな時刻設定をし、上部にある▲および▼ボタンで微調整を行ってください。

7.1.2　再生モードの設定



設定中のスケジュールが実行される場合での再生モードを設定します。搭載されている再生モードは、Soundscape シリーズのハードウェアによって異なります。どの再生モードが搭載されているかについては、それぞれの機器の取扱説明書をご覧下さい。

■通常とイベントについて

スケジュール設計において、あらかじめ定められたスケジュールに従って再生される音源を”通常音源”、センサーやスイッチなど外部からの入力を受けて再生される音源を”イベント音源” と呼んでいます。

■再生モード一覧

通常音源のみを使用する場合

- モード 00：何もしない。
- モード 01：指定した複数曲を順番にリピート再生。（再生途中でも強制的に再生モード切替）
- モード 02：指定した複数音源を順番にリピート再生（音源終了後に再生モード切替）
- モード 03：CF カード内にある全ての音源を順番にリピート再生

イベント音源のみを使用する場合

- モード 10：センサー起動で、CF 内の曲をランダムに 1 回再生。再生終了後は無音。再生

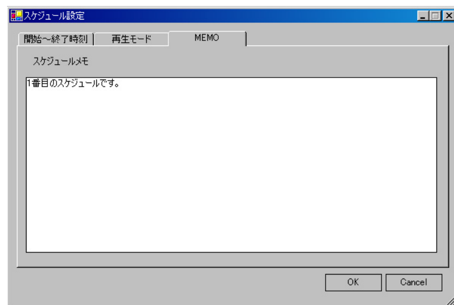
中はセンサーを無視。

- モード 11：センサー起動で指定した複数曲を１回再生。再生終了後は無音。再生中はセンサーを無視。

通常音源とイベント音源、両方を使用する場合

- モード 20：指定した複数曲を順番にリピート再生し、センサー起動で他の指定した曲を１回再生。再生終了したらもとの曲の再生に戻る。指定した曲の再生中はセンサーを無視。
- モード 21：指定した複数曲を順番にリピート再生し、センサー起動で他の指定した曲を１回再生。再生終了したらもとの曲の再生に戻る。指定した曲の再生中にセンサー検知したら、その曲をリスタート。

7.1.3　スケジュールメモ



設定するスケジュールのメモ（覚書）を残しておくことができます。メモはスケジュールリスト画面に表示されます。

7.2　スケジュールの変更

スケジュールリスト画面を右クリック→変更、もしくは、メニュー→スケジュール→変更を押下すると、スケジュール設定ウィンドウが開きます。

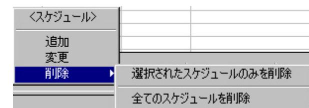
重複する時間帯への変更を行おうとした場合、エラーメッセージが表示されますので、再度、時間帯の設定を行ってください。

時間帯を変更した場合、スケジュールの順序は自動的に変更されます。

7.3　スケジュールの削除

スケジュールリスト画面を右クリック→削除、もしくは、メニュー→スケジュール→削除を押下すると、選択されたスケジュールを削除します。

右クリックからの削除では、選択されたスケジュールの削除の他、全スケジュールを一括で削除することもできます。



8　スケジュール詳細設計

Soundscape シリーズでは、スケジュール毎に音の運用方法を変えることができます。スケジュールが決まったら、各スケジュールの詳細な設定を行っていきましょう。

- どの音源を配信するのか
- どの場所から再生するのか
- どのセンサーを使用するのか

Soundscape シリーズでは、機種によって設定可能な項目が異なります。設定可能な項目については、SSPMS が自動で判別してくれます。

8.1　配信曲の設定

スケジュールで定められた時間帯の中で、再生される音源を設定していきます。選択された Channel へ登録済の音源を使用することができます。先に設定された再生モードに合わせ、通常音源とイベント音源の再生リストへ、再生させたい音源を追加してください。



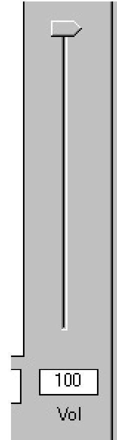
8.1.1　配信曲の追加



配信したい音源が決まったら、音源リスト画面上で音源を選択し、音源追加ボタンを押下して、選択されているスケジュールへ音源を追加します。

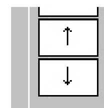
音源リスト上で、Shift ボタンや Ctrl ボタンを活用して複数音源ファイルを選択し、同時に一括登録することも可能です。

8.1.2　音量の設定



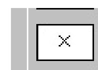
それぞれのスケジュールに対し、音量を設定することができます。例えば、「混雑時の音量をデフォルトである 100 にしておき、朝の時間帯には音量 70 に下げておく」といった、設置される空間に合わせた柔軟な音場設計ができます。

8.1.3　音源順序の変更



順序を変更したい音源を選択し、順序変更ボタンを押下して音源の順序変更を行ってください。

8.1.4　配信曲の削除



スケジュールから削除したい音源を選択し、削除ボタンを押下して配信音源リストからの削除を行ってください。

8.2 出力先設定

配信音源で設定された音源をどのスピーカから出力させるか、スケジュール毎に設定することができます。ある時間帯では設置される建物全体に同一音源を配信し、別の時間帯では特定の空間にのみ音源を配信する、といった設定を行うことができます。



※選択可能な出力先の数は、設置されるレシーバユニット (SS-R04S) の台数によって異なります。これらの情報は初期設定ファイルに記述されますので、あらかじめ音響機器の設備計画をしっかり行っておく必要があります。（プロジェクトファイル作成後、機器構成を変更することはできません）

8.2.1 出力先の追加

出力先を選択し、出力先追加ボタンを押下してください。

選択された出力先が、同時刻帯を含む別 Channel のスケジュールに既に登録されている場合、出力先を重複して登録することはできません。（追加ボタン押下時、エラーメッセージが表示されます。）

8.2.2 出力先の削除

削除したい出力先を選択し、出力先削除ボタンを押下してください。

8.3 センサー設定

設定された再生モードが 10 番台～20 番台である場合、イベント音源再生のきっかけとなるセンサーの設定を行う必要があります。



8.3.1 センサーの追加

センサーを選択し、センサー追加ボタンを押下してください。

選択された出力先が、同時刻帯を含む別 Channel のスケジュールに既に登録されている場合、出力先を重複して登録することはできません。（追加ボタン押下時、エラーメッセージが表示されます。）

8.3.2 センサーの削除

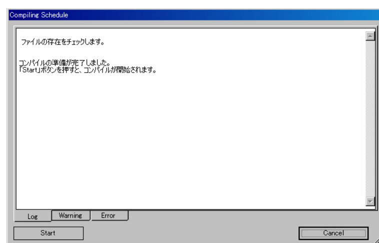
削除したいセンサーを選択し、センサー削除ボタンを押下してください。

9 コンパイル

スケジュールの詳細設定が終わった後は、コンパイルを行ってください。コンパイルは、プロジェクトに登録された音源やスケジュールなどとの依存関係をチェックし、問題がなければ CF カードへのデータ転送に必要なファイルを生成します。

9.1 コンパイルの準備

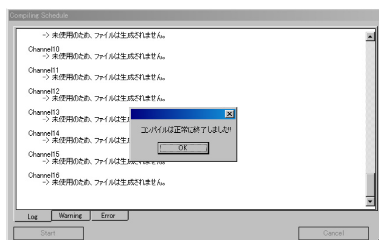
メニュー→プロジェクト→コンパイルを選択し、コンパイルウィンドウを開いてください。



コンパイルウィンドウの起動時は、各 Channel に登録された音源ファイルが存在しているかどうかの確認が行われます。ファイルが存在していない場合には、コンパイルを行うことができません。

9.2 コンパイルの実行

コンパイルの準備が完了すると、「コンパイルの準備が…」という文章が表示され、Start ボタンを押せるようになります。Start ボタンを押下すれば、コンパイルを実行することができます。



コンパイルが完了すると、メッセージが表示されます。「コンパイルは正常に終了しました！」というメッセージが表示されれば、CF カードへのデータ転送へお進みください。

9.3 Error と Warning について

コンパイルが正常に終了できない場合、エラーまたは警告が表示されます。

■Error

コンパクトフラッシュカードへの書込みに必要なファイルは生成されません。スケジュール設計またはスケジュールの詳細設定を修正する必要があります。

表示されるエラーメッセージを参考に、修正を行ってください。

■Warning

"Warning"は、Soundscape シリーズの機器は動作するものの、適切ではないと思われる設定でコンパイルされた場合に表示されます。この場合、CF カード転送に必要なファイルは生成されます。具体的には、以下の場合に警告メッセージが表示されます。

- 時間帯は設定されているが、配信音源が登録されていない。
- 時間帯は設定されているが、出力先が登録されていない。

10　CF カードへの書込

コンパイルが終了すれば、CF カードへのデータ転送を残すのみです。

SS-MZS16/MZS08/MZP08 では、設定を行った Channel 数＋1（スケジュール分）枚の CF カードが必要です。それぞれ転送する内容によって、コンテンツ転送とスケジュール転送を個別に行います。

SS-SCP1 は、1 枚の CF カードにコンテンツ情報とスケジュール情報が収められています。SS-SCP1 の場合、コンテンツ転送を行ってください。

10.1　専用カードライターの準備

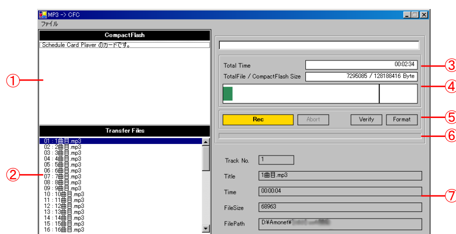
Amonet 専用カードライターを準備してください。

1. カードライターを PC の空き USB ポートへ接続してください。(カードライターの LED が橙色に点灯していることを確認して下さい)
2. カードライターへ、データを書き込むための CF カードを挿入してください。

10.2　コンテンツ転送

10.2.1　準備

ファイル→プロジェクト→ CF カードへ転送→コンテンツ を選択するか、音源コントローラー部の転送ボタンを押下してください。コンテンツ転送ウィンドウが開きます。(エラーメッセージが表示された場合は、再度、カードライターの接続をやり直してみてください。)



① CF カード内音源リスト

挿入されている CF カード内に、既に書き込まれている音源が存在する場合、ファイル名をリスト形式で表示します。SS-SCP1 に使用される CF カードが挿入された場合、「Schedule Card Player のカードです。」と表示されます。

② 転送音源リスト

転送される音源のリストが表示されます。

③ 総再生時間

転送音源リストに表示された音源の総再生時間が表示されます。

④ CF カード容量と総ファイルサイズ

CF カードの容量と、転送される総ファイルサイズが表示されます。棒グラフには、CF カード容量と転送される総ファイルサイズの比率に応じて描画されます。

転送ファイルサイズが CF カード容量に対して 90 %を超えると黄色に、100 %を超えると赤で表示されます。転送ファイルサイズの合計が、CF カード容量の合計を超えた場合、CF カードへの転送を行うことはできません。

総ファイルサイズは、転送音源リストに表示された音源の合計ファイルサイズ＋管理情報を納めたヘッダーファイルサイズとなります。

⑤ コントロールボタン

各種操作を行うためのボタン群です。

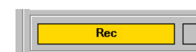
⑥ 進捗プログレスバー

CF カードへの転送が開始されると、進捗が表示されます。

⑦ 音源詳細情報

CF カードへ転送される音源の詳細情報が表示されます。

10.2.2　転送



準備が整うと、転送ボタン (Rec ボタン) が使用可能になります。転送ボタン (Rec ボタン) を押下し、転送を開始してください。

10.2.3　転送中止



やむを得ない理由で転送を中止したい場合は、”Abort”ボタンを押下してください。転送中止にはしばらく時間がかかります。

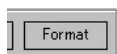
※転送途中で中止した CF カードを、Soundscape シリーズ機器へ使用することはおやめ下さい。必ず、再度、転送を行った上でご使用下さい。

10.2.4　ベリファイ



データが正しく転送できたかどうかを確かめるために、ベリファイを行うことができます。”Verify”ボタンを押下すると、ベリファイが開始されます（1 バイトずつ照合していくため、時間がかかります。）

10.2.5　フォーマット



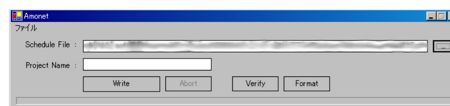
コンテンツカードをフォーマット（初期化）します。管理情報のみをフォーマットする高速モードと、CF カード容量全体をフォーマットする完全モード、2 種類のフォーマットを選ぶことができます。

”format”ボタンを押下すると、CF カードのフォーマットが開始されます

10.3　スケジュール転送

10.3.1　準備

ファイル→プロジェクト→ CF カードへ転送→スケジュール を選択してください。スケジュール転送ウィンドウが開きます。（エラーメッセージが表示された場合は、再度、カードライターの接続をやり直してみてください。）



10.3.2　転送

準備が整うと、転送ボタン (Rec ボタン) が使用可能になります。転送ボタン (Rec ボタン) を押下し、転送を開始してください。

10.3.3　転送中止

やむを得ない理由で転送を中止したい場合は、”Abort”ボタンを押下してください。転送中止にはしばらく時間がかかります。

※転送途中で中止した CF カードを、Soundscape シリーズ機器へ使用することはおやめ下さい。必ず、再度、転送を行った上でご使用下さい。

10.3.4　ベリファイ

データが正しく転送できたかどうかを確かめるために、ベリファイを行うことができます。”Verify”ボタンを押下すると、ベリファイが開始されます（1 バイトずつ照合していくため、時間がかかります

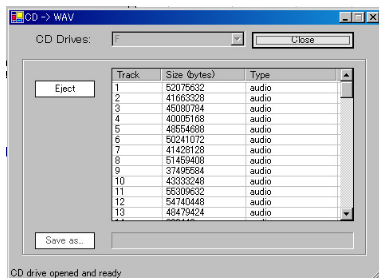
10.3.5　フォーマット

スケジュールカードをフォーマット（初期化）します。”format”ボタンを押下すると、CF カードのフォーマットが開始されます

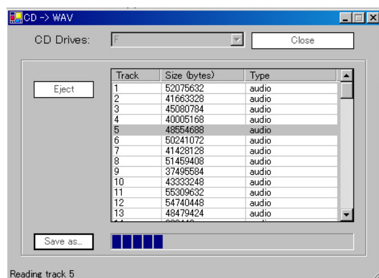
11　その他の操作

11.1　CD から Wav ファイルのリッピング

SSPMS で、音源 CD からのリッピング (WAV ファイルの吸出し) を行うことができます。メニュー→ツール→”CD → WAV”を選択すると、リッピングを行うウィンドウが開きます。



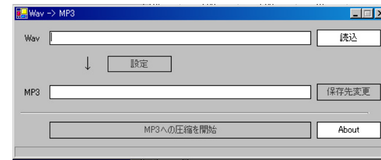
CD-ROM ドライブへ音源 CD を挿入し、”OPEN”を押下してください。リッピングしたい音源を選択し、”Save as”ボタンが押して下さい。フォルダ選択ダイアログが開きますので、WAV ファイルの保存先を選択してください。保存先が適切に選択されれば、リッピングが開始されます。



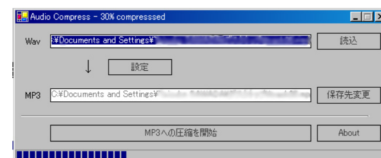
※複数音源の一括リッピングには対応していません。

11.2　mp3 ファイルへのエンコード

SSPMS は、MP3 簡易エンコード機能を持っています。メニュー→ツール→”WAV → MP3”を選択すると、エンコードを行うウィンドウが開きます。

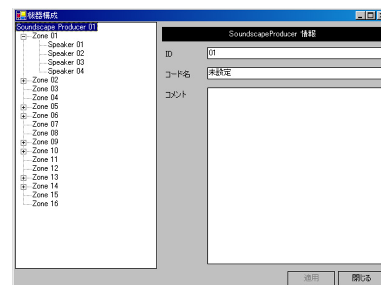


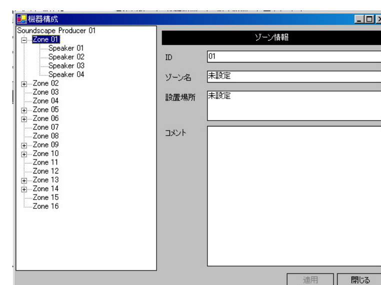
読込ボタンを押すと、ファイル選択ダイアログが開きます。エンコードしたい WAV ファイルを選択してください。MP3 へエンコードされるファイルの保存先を変更したい場合は、保存先変更ボタンを押し、フォルダ選択ダイアログで保存先を選択してください。(デフォルトでは、選択された WAV ファイルと同一フォルダに保存されます。)

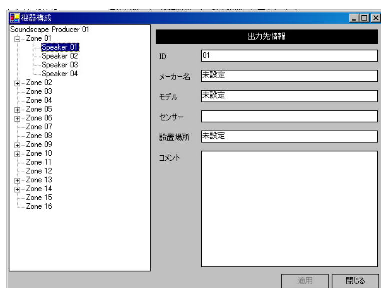


11.3　機器構成情報の入力

設置されている機器の詳細情報を入力することができます。







12　製品に関するお問合せ

本製品について、ご不明な点やご質問などがございましたら、「Amonet Online」のお問合せページのフォームをご利用いただくか、下記までご連絡ください。

■製品に関するお問合せ

株式会社アモネット

- TEL：092-915-1550
- FAX：092-915-1560

電話受付時間：月曜日〜金曜日
10:00〜12:00/13:00〜17:00

株式会社アモネット

〒811-1314
福岡市南区的場2-25-5 中原ビル3F
http://www.amonet.co.jp

＜製品に関してのお問い合わせは＞

TEL (092)915-1550 / FAX (092)915-1560
受付時間 9:00～18:00
（土・日・祝祭日、弊社休業日を除く）